

【本格的な受験勉強の再開の前にできること】

技術士二次試験が終わってから約2か月が過ぎました。今回は、受験勉強の再開に関する内容の資料です。

1. 本格的な受験勉強の再開の前にできること

「技術士二次試験対策：2026年度の合格に向けて始動する」というテーマのブログを2025年8月27日に掲載しました。この中で以下のことを書きました。

2025年度の筆記試験の合否がわからない方は「不合格の具体的な原因分析とその解決策を考えること」を今から行うことをお勧めします。つまり、これは、2026年度の合格に向けて始動することです。

しかし、このことが頭の中で理解できても「記述式試験の結果が出るまで『2026年度の合格に向けて始動する』という気持ちにならない」や「始動しても記述式試験に合格していたらこの間の時間が無駄になる」のような気持ちを持つことがあると思います。

このような気持ちになったとき、本格的な受験勉強の再開の前にできることがあります。それは、日常業務の中で「解答を書く力を鍛えること」です。

弊社では、「解答を書く力を鍛えることも受験勉強の一つ」という考え方を持っています。技術士二次試験での記述式試験は、「書いたものが評価される試験」だからです。この考え方に関することを、ブログや「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の資料で詳しく解説しています。

2. 「解答を書く力」とは

解答を書く力とは以下の3つの力の総合力です^{注1)}。

- ①1分で理解できる解答を書く力
- ②文に変換する力
- ③文の作成力

解答を書く力は、日常業務の中で鍛えることが基本です^{注2)}。

注1)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「図解でわかる 解答を書く力」の資料を参照のこと

注2)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「図解でわかる『日常業務の中で

“解答を書く力”を鍛える』について（改訂版）」の資料を参照のこと

3. 勉強した時間が無駄にならない

技術文書を書くうえでの3つの力^{注3)}がレベルアップすることで解答を書く力がレベルアップします。頭の中にあること整理しそれを書く力は、技術文書を書くときにも解答を書くときにも共通して必要な力です。日常業務の中で、技術文書を書くうえでの3つの力をレベルアップさせることで解答を書く力がレベルアップします。つまり、これは、一石二鳥です。

「日常業務の中で“解答を書く力”を鍛える」という考えに沿って2026年度の合格に向けて始動すれば「記述式試験に合格した」という結果になっても勉強した時間が無駄になりません。始動したときから結果発表までの期間で、技術文書を書くうえでの3つの力がレベルアップするからです。

技術文書を書くうえでの3つの力がレベルアップすれば、例えば、メールや業務報告書などで文章を書くときに「内容が明確に伝わる文章」を書くことができます。「書き方1：要点を冒頭に書く」という書き方が習得できるからです。

注 3)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「図解でわかる『日常業務の中で“解答を書く力”を鍛える』について（改訂版）」の資料を参照のこと

以 上